

大工技能者等の担い手確保等に向けた取組

建築大工技能者等検討会

【令和8年度取組（予定）】

- ・担い手中長期ビジョンの推進に資する調査、事例集の作成
- ・「大工になろうNET」「大工を育てるNET」の拡充と周知
- ・地域における若年技能者等のネットワーク構築 等

【これまでの主な取組】

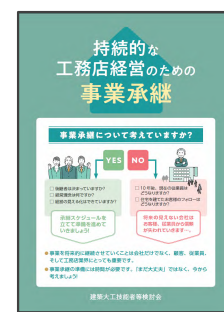
- ・大工の仕事の内容や魅力等が伝わる「大工になろうNET・大工を育てるNET」の開設・公開、コンテンツ充実
- ・働き方改革や大工技能者等への就業状況に関する調査
- ・フリーランス法の周知や事業承継の案内に関するパンフレット作成
- ・地域の若年技能者等のネットワーク作りに向けた交流会開催
- ・外国人が建築大工技能者の特定技能1号・2号検定へ取り組み助けとなる動画の一部（2級建築大工技能士）の作成 等



大工になろうNET（令和5年度開設・公開）



フリーランス法
パンフレット



事業承継パンフレット

委員

芝浦工業大学建築学部建築学科
教授 蟹澤 宏剛<座長>
(一社)日本木造住宅産業協会
(一社)日本ツーバイフォー建築協会
(一社)JBN・全国工務店協会
(一社)全国住宅産業地域活性化協議会
全国建設労働組合総連合
(一社)プレハブ建築協会
(一社)日本ログハウス協会
(一社)愛知県建設団体連合会

オブザーバー

(一社)住宅生産団体連合会
(一社)日本在来工法住宅協会
※令和6年度から参加
国土交通省住宅局住宅生産課
木造住宅振興室

暮らし維持のための安全・安心確保モデル事業

地域に根づいた住宅生産の担い手不足への懸念や大規模災害リスク等を踏まえ、地方公共団体と締結する災害協定等の内容に応じ、一定のエリアにおいて横連携を図る地域の住宅生産事業者等で構成されるグループ（地域グループ）が災害発生時に備えて事前に実施するモデル的取組を支援

【広域モデル策定型】

木造応急仮設住宅等の設計図作成、整備体制構築等の事前検討、発災時対応に必要な建築技能習得のための研修や訓練等のモデル的取組

取組主体：地域グループ 補助率：定額
補助限度額：1,000万円／地域グループ



被災住家の応急修理や木造応急仮設住宅の早期供給に向けた訓練のイメージ

試行

フィードバック

【地域モデル実装型】

木造応急仮設住宅（恒久）や復興住宅等のモデル的整備

整備主体：地域協議会 補助率：1/2



木造応急仮設住宅や復興住宅のモデル的整備のイメージ

技能者の減少を踏まえた住宅の持続的な供給体制確保の推進

- 大工をはじめとした**住宅建設技能者は急速に高齢化や減少が進んでおり**、質の高い住まいの安定的な供給と適切な維持管理・更新が行われる社会を実現するためには、担い手の確保や生産性の向上など**住宅の持続的な供給体制の整備が喫緊の課題**。
- 住宅分野は一人親方や工務店など中小事業者が多い、技能者の職種が多岐にわたる、サプライチェーンが長く関係者が多いなどの特徴があり、**住宅建設技能者の持続的確保に係る中長期ビジョンを策定**し、それに基づき多様な官民の関係機関や団体等が連携して取り組む必要。

政府計画における位置づけ

■ 住生活基本計画（全国計画）（R8.3.27閣議決定）（抜粋）

【目標10 担い手の確保・育成や海外展開等を通じた住生活産業の発展】

- **住宅建設技能者の持続的確保**に向けた中長期的なビジョンの策定及びそれに基づく取組の推進

■ 地域未来戦略（R8.7.21閣議決定）（抜粋）

【第5節その他の施策の推進 2. 豊かな生活環境 イ. 持続可能な生活インフラの実現】

（30）**地域工務店等による発災時の住まい確保に係る官民連携や担い手確保等の促進**

住宅分野における建設技能者の持続的確保懇談会とりまとめ概要（R7.10）

■ 課題

【座長：蟹澤宏剛 芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授】

- ・他産業と比較して不安定かつ不十分な就労環境
- ・技能の継承の難しさと教え手の不足
- ・学生、学校、保護者からの仕事の見えにくさ
- ・女性が働くのが難しい職場環境
- ・中小の個社による雇用・教育体制の確保の難しさ 等

■ 取組の視点と方向性

視点2: 育成環境の整備

<方向性>

- ・技能者の体系的な育成体制の構築
- ・業界団体と教育機関等が連携した住宅建設技能者の重要性和魅力の発信

視点1: 選ばれる業界・職場への変革

<方向性>

- ・社員大工化の推進
- ・他産業に劣らない就労環境の確保
- ・キャリア形成の見える化
- ・技能者の能力評価、やりがいの醸成(CCUSなど)

視点3: 担い手の裾野の拡大

<方向性>

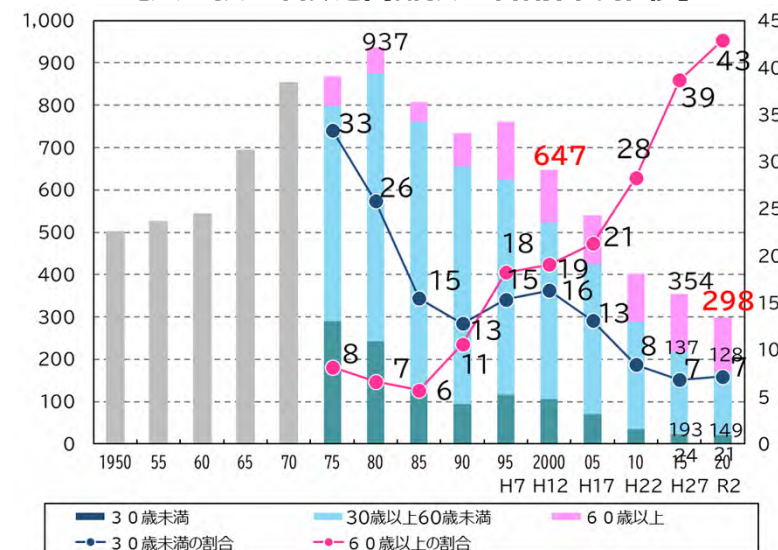
- ・女性や外国人材が適切に働ける環境の整備
- ・高齢の技能者の活躍の促進
- ・地域の担い手の拡大（コミュニティ大工+施主+地域住民等）

視点4: マネジメントの強化

<方向性>

- ・地域工務店の経営基盤の強化（事業承継・M&A・アライアンスなど）
- ・新たな時代に応じたビジネスモデルの展開（維持管理（点検・修繕）、リフォーム、木造建築物など）
- ・生産性の向上に向けた技術の導入・活用（パネル化・プレハブ化、DX・AI活用など）

【大工技能者数と高齢技能者割合の推移】



➡ 住宅分野の担い手確保に向けて官民で連携して取り組むための中長期ビジョンを策定予定（令和8年度中を目途）